

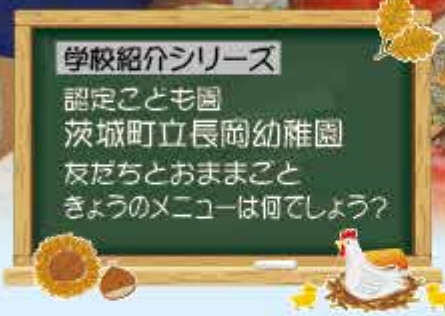
# 議会だより

## No. 226

2022.11.1

発行 茨城町議会  
編集 議会広報委員会茨城町ホームページ <https://www.town.ibaraki.lg.jp/>

学校紹介シリーズ  
認定こども園  
茨城町立長岡幼稚園  
友だちとおままごと  
きょうのメニューは何でしょう?



## 9月定例会開催



9月定例会のあらまし	2
一般質問	9
議会活動報告・お知らせ	12

# 「令和3年度一般会計 特別会計 企業会計 歳入歳出決算」を認定

## 「小・中学校施設整備 新型コロナウイルス感染症対策関連の補正予算」など23議案を承認・可決

令和4年  
第3回定例会  
9/1~9/9

令和4年第3回定例会は、9月1日から9日までの9日間の会期で開かれました。開会初日は、町長より、令和4年度上半期事業の進捗状況について報告、令和3年度一般会計及び特別会計決算認定などを含む認定3件についての概要説明、条例制定、補正予算などを含む22議案について提案理由の説明がありました。続いて、一般質問が行われ、6人の議員が登壇し、町

政全般にわたり質問がなされました。その後、議案22件、請願2件、陳情1件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。9日の最終日には、各常任委員会委員長より付託された案件の審査結果の報告があり、討論・採決の結果、全議案を原案のとおり可決、請願2件、陳情1件を継続審査としました。続いて、町長より追加提出された人事案件1件を原案のとおり同意し、全日程を終了しました。

### 可決された議案

**議案第56号**  
茨城町議会議員及び茨城町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について  
町議会議員選挙及び町長選挙において、候補者の資産状況による影響を防止、選挙運動の機会均等を図るため、選挙運動用自動車、ピラ・ポスター作成などに係る費用の一部を公費で負担できるようにする規定を整備  
施行期日 公布の日から  
【全員賛成】

**議案第57号**  
茨城町議会議員及び茨城町長の選挙における選挙公報発行に関する条例の制定について  
町議会議員選挙及び町長選挙において、有権者に対し候補者の政見等の情報を得る機会を増やすため、選挙公報の発行にかかる所要の規定を整備  
施行期日 公布の日から  
【全員賛成】

**議案第58号**  
茨城町職員定数条例の一部を改正する条例について  
職員の適正配置及び負担軽減を図るため、他の地方公共団体及び公益法人等へ派遣している職員を定数外とするため所要の規定を整備  
施行期日 公布の日から  
【全員賛成】

**議案第59号**  
茨城町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について  
育児休業を取得しやすしい勤務環境を整備するため、育児休業の取得回数制限の緩和、育児参加のための休暇の対象期間の拡大など、所要の規定を整備  
施行期日 令和4年10月1日  
【全員賛成】

**議案第60号**  
茨城町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例の制定について  
令和4年6月に判明した「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」の誤支給に伴い、自ら管理監督者としての責任を取り、町長の給料月額を1か月（10月分）10分の1減額するため、所要の規定を整備  
施行期日 令和4年10月1日  
【全員賛成】

**議案第61号**  
茨城町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の制定について  
公の施設に係る指定管理者の指定について、公募、申請受付、選定等、一連の手続きを定めるため、所要の規定を整備  
施行期日 公布の日から  
【全員賛成】

**議案第62号**  
茨城町企業版ふるさと納税基金条例の制定について  
企業からの寄附を、地域再生法に基づき国が認定した「茨城町まち・ひと・しごと創生推進計画」に定める事業に要する経費の財源に充てるため、所要の規定を整備  
施行期日 公布の日から  
【全員賛成】

**議案第63号**  
茨城町商場の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例について  
「いばらき聖苑」に指定管理者制度を導入し、民間の経営手法やノウハウを活用した、より質の高い住民サービスを安定的に提供するため所要の規定を整備  
施行期日 公布の日から  
【全員賛成】

**議案第64号**  
R4国補道改第1号 道路改良工事の請負契約の締結について  
契約の方法  
一般競争入札による契約  
契約の相手方  
茨城町大字上石崎3948番地  
株式会社 潤沼建設工業  
代表取締役 田中 弘美  
契約金額 7150万円  
履行期限 令和5年3月20日  
【全員賛成】

**議案第65号**  
R4国補道改第2号 道路改良工事の請負契約の締結について  
契約の方法  
一般競争入札による契約  
契約の相手方  
茨城町大字神谷779番地10  
株式会社 進栄建設  
代表取締役 田家 美智也  
契約金額 5984万円  
履行期限 令和5年3月20日  
【全員賛成】

**議案第66号**  
R4茨城町菅矢頭団地（A棟）外部改修工事及びB・C棟共用部改修工事の請負契約の締結について  
契約の方法  
一般競争入札による契約  
契約の相手方  
茨城町大字小堤372番地  
株式会社 高木工務店  
代表取締役 高木 孝之  
契約金額 8448万円  
履行期限 議決を得た日の翌日から150日間  
【全員賛成】

**議案第67号**  
潤沼自然公園複合遊具等設計・施工業務委託契約の締結について  
契約の方法  
公募型プロポーザルによる随意契約

**議案第68号**  
R4茨城町公用自動車（電気自動車）購入の契約の締結について  
契約の方法  
指名競争入札による契約  
契約の相手方  
水戸市千波町1949番地の1  
茨城日産自動車株式会社  
代表取締役 加藤 敏彦  
契約金額 1952万2885円  
履行期限 令和5年3月15日  
【全員賛成】

**議案第69号**  
茨城町議場映像音響設備改修業務の契約の締結について  
契約の方法  
公募型プロポーザルによる随意契約  
契約の相手方  
宮城県仙台市青葉区一番町1丁目1番8号  
株式会社 レストラン・コミュニケーションズ  
営業所長 細谷 小太郎  
契約金額 1904万1000円  
履行期限 令和5年3月22日  
【全員賛成】

**議案第70号**  
※プロポーザルとは…業務委託先を決める際には、業務遂行に要する価格の安い方を提示した者を選定する競争入札が用いられることが多くなっていますが、業務の内容が技術的に高度なものや、専門的な技術が要求されるものに利用されるのが「プロポーザル」という入札方式です。応募した事業者が仕様書に示された業務に対して企画提案書を提出し、その企画内容で競う方式です。



潤沼自然公園複合遊具提案内容の概要図（完成予想イラスト）

**議案第71号**  
契約の相手方  
広島県福山市御幸町大字中津原  
1787番地1  
タカオ株式会社  
代表取締役 高尾 典秀  
契約金額 6996万円  
履行期限 令和5年3月14日  
【全員賛成】



茨城町議会議場風景



いばらき聖苑

# 補正予算

補正予算は、当初予算に組み込むことができなかつたもの、その後必要が生じた事項で早急な予算措置が必要なものについて計上しています。一般会計では、歳入は、県支出金及び繰越金などの増額、歳出は、教育費及び民生費などの増額により、2億592万1千円を追加し、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ134億459万8千円としました。

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	131億9867万7千円	2億592万1千円	134億459万8千円
国民健康保険特別会計	35億8050万8千円	110万円	35億8160万8千円
後期高齢者医療保険特別会計	4億3972万円	606万1千円	4億4578万1千円
介護保険特別会計	34億6823万9千円	1億7975万3千円	36億4799万2千円
農業集落排水事業会計	収益的支出 3億2639万4千円	▲6千円	3億2638万8千円
公共下水道事業会計	収益的支出 6億7198万6千円	▲153万7千円	6億7044万9千円
水道事業会計	収益的支出 7億8221万8千円	250万2千円	7億8472万円

## 一般会計補正予算の主な内容

- 情報化推進事業費 **926万2千円**  
(マイナンバーカードを活用したオンライン手続きの導入や情報システムの標準化に向けた準備費用。)
- 低所得子育て世帯生活応援特別給付金給付事業費 **1638万4千円**  
(新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯(ひとり親世帯以外)に対し、茨城県が独自に給付金(対象児童1人当たり50千円)を給付。)
- 工業団地立地奨励金<企業誘致推進事業費> **1573万円**  
(令和3年中に操業開始した企業等への企業奨励金。)
- 学校保健特別対策事業費 **810万円**  
(新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、小中学校の運営に必要なマスク、消毒液等を整備する経費などを助成。)
- 小・中学校施設整備事業費 **932万5千円**  
(青葉小学校施設修繕及び7/26の落雷に伴い故障した学校設備の修繕等。)

## 専決処分により承認された令和4年度補正予算

議案第55号 専決処分の承認を求めることについて〔令和4年度茨城町一般会計補正予算(第3号)〕  
【全員賛成】

【歳出】 一般会計	補正額	補正前の額	補正後の額
総務費	1億927万5千円	130億1952万8千円	131億9867万7千円
農林水産業費	3238万4千円		・物価高騰対策生活応援商品券発行 ・燃料価格高騰に係る公共交通事業者に対する支援
商工費	3005万円		・農業経営収入保険の保険料の一部を支援 ・原油や農業資材等の価格高騰に係る認定農業者に対する支援
教育費	744万円		・新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が減少した事業者に対する支援 ・食材価格の高騰に伴う学校給食食材費の増 ・学校給食費に対する町からの物価高騰対策支援

## 認定された議案

認定第1号  
令和3年度茨城町一般会計及び特別会計決算認定について  
【賛成多数】  
賛成14 反対1

川澄 敬子

反対  
討論 (認定第1号に対する反対)  
令和3年度一般会計歳入歳出決算書によると、実質収支額は6億8469万5484円、そのうち3億5千万円を基金に繰り入れることとしている。町会計が健全であることは良いことであるが、町民の暮らしが良くなるような施策が求められている。コロナ禍で、低所得者やひとり親世帯への支援、所得が下がった事業者への支援などが取り込まれる。そのこと自体は、たいへん意義のある施策だが、時的な支援でなく、恒常的な支援が必要であると考える。学校給食費の無償化、国民税のさらなる引き下げ、町民税等に係る低所得者への軽減条件の拡大など、町として、の検討を強く要望し、認定第1号に反対する。

認定第2号  
令和3年度茨城町公営企業会計決算認定について  
【全員賛成】

認定第3号  
令和3年度水戸地方農業共済事務組合農業共済事業会計決算認定について  
【全員賛成】

## 人事案件

議案第77号  
茨城町教育委員会の教育長の任命につき同意を求めることについて  
・議会は、茨城町教育委員会の教育長の任命に同意いたしました。  
矢口 和美(つくば市)  
任期 令和4年9月20日から  
令和7年9月19日  
【全員賛成】

請願・陳情の審査結果

継続審査となったもの

請願第2号  
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願  
水戸市笠原町978-146  
茨城教育会館2F

茨城県教職員組合  
執行委員長 中山 幸男  
ほか101名

請願第3号  
「水田活用の直接支払交付金」の見直しを中止し、すべての農家経営への支援策強化を求める請願  
東茨城郡茨城町上飯沼626  
茨城中央農民組合 浅井 紘一

陳情第5号  
中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情  
兵庫県伊丹市北伊丹1-175  
井田 敏美

審議未了となったもの

陳情第1号  
女性トイレの維持及びその安心安全の確保について国に意見書を出すことを求める陳情

陳情第2号  
国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情

陳情第3号  
沖繩を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

陳情第4号  
土地利用規制法廃止に関する陳情



## 可決された令和4年度補正予算

- 議案第70号 令和4年度茨城町一般会計補正予算(第4号)【全員賛成】
- 議案第71号 令和4年度茨城町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)【全員賛成】
- 議案第72号 令和4年度茨城町後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)【全員賛成】
- 議案第73号 令和4年度茨城町介護保険特別会計補正予算(第2号)【全員賛成】
- 議案第74号 令和4年度茨城町農業集落排水事業会計補正予算(第2号)【全員賛成】
- 議案第75号 令和4年度茨城町公共下水道事業会計補正予算(第2号)【全員賛成】
- 議案第76号 令和4年度茨城町水道事業会計補正予算(第2号)【全員賛成】

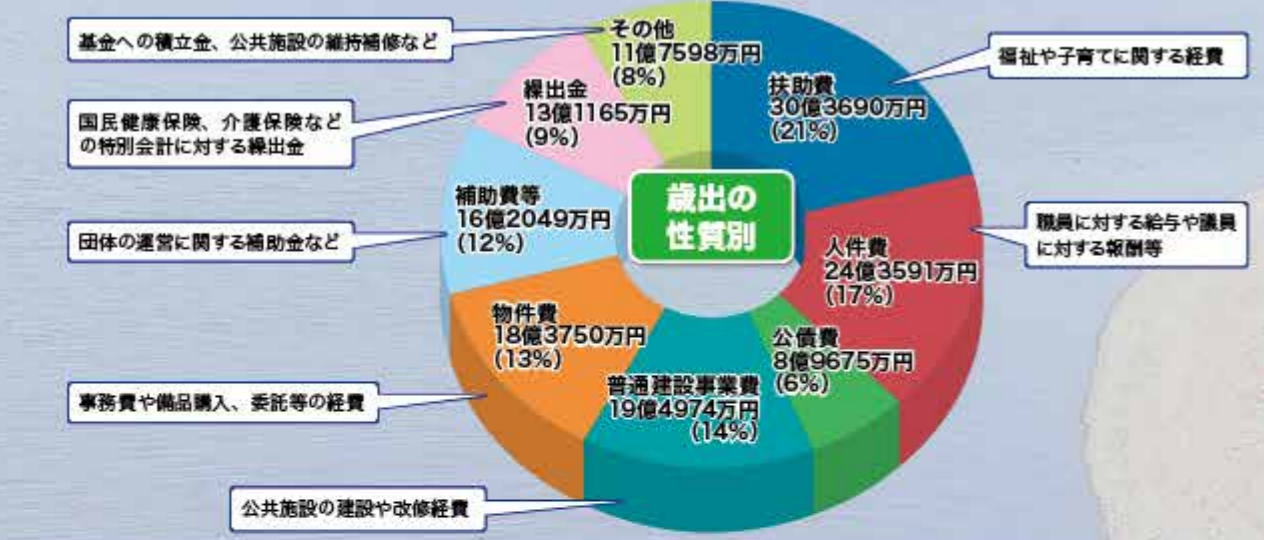
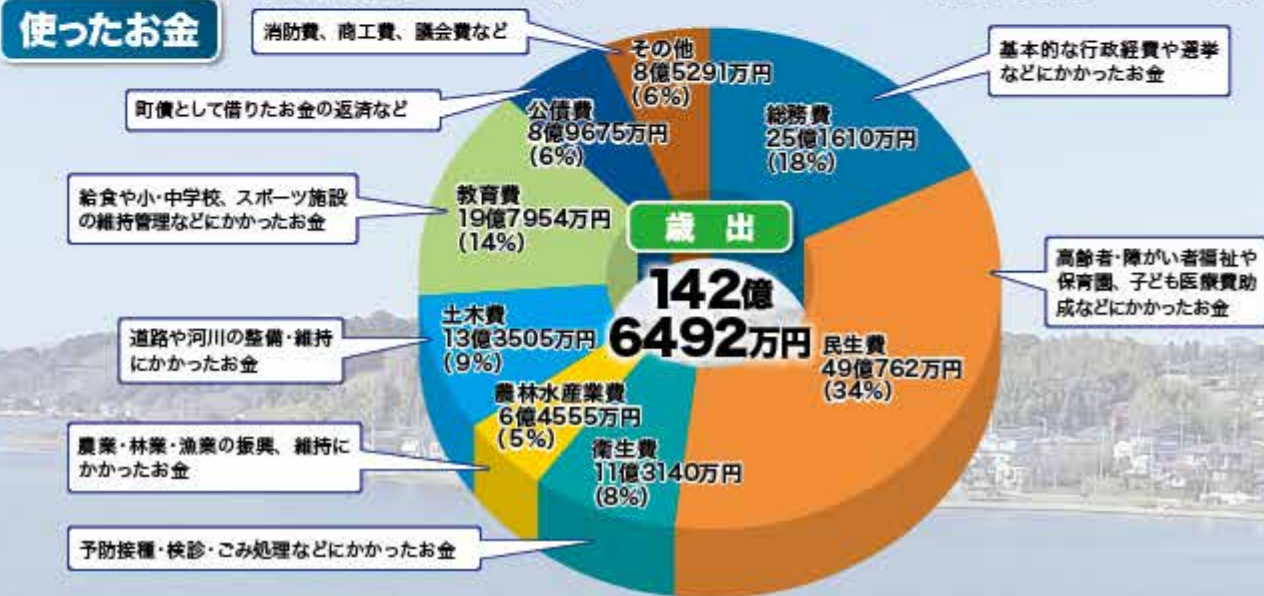
# 令和3年度決算

新型コロナウイルス感染症対策事業費

学校給食共同調理場施設整備事業費

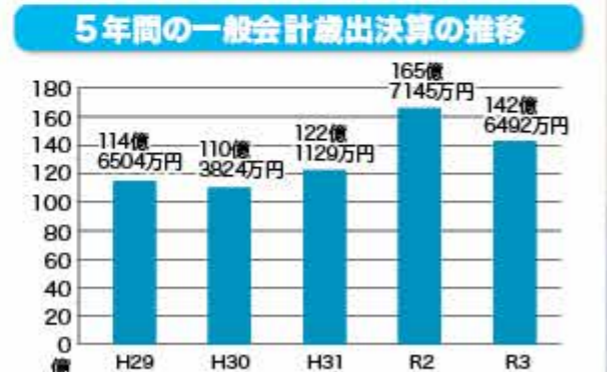
## 一般会計

歳入 **150億3312万円** (前年度比13.4%減) 歳出 **142億6492万円** (前年度比13.9%減)



### 町債(借入金)と基金(貯金)の状況

	町債残高(借入金)	基金残高(貯金)
一般会計 【 】は令和2年度	103億4075万円 【100億7797万円】	50億6001万円 【40億1971万円】
町民一人当たりの金額 茨城町人口 31,296人 (令和4年3月末日現在)	約33万円	約16万円



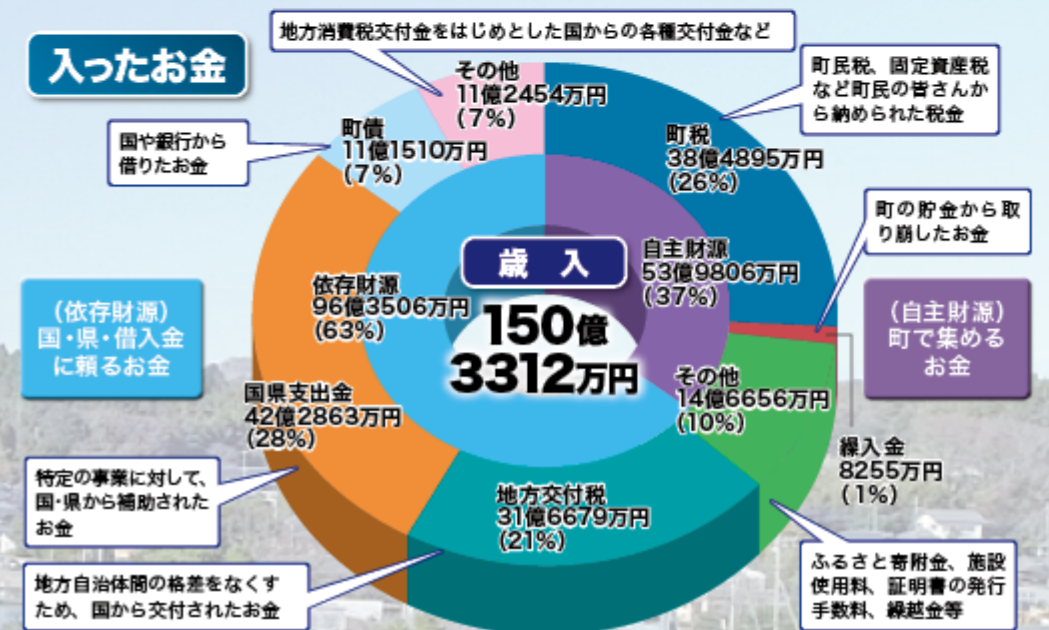
## 一般会計、特別会計及び企業会計 歳出総額

※金額は1万円未満切り捨て

道路新設改良事業費

など **243億2076万円** を認定 **前年度比 8.9%減**

差引額 **7億6820万円** (・令和4年度に繰り越して使用する分 4億1820万円) (・将来に備えて基金へ積み立てた分 3億5000万円)



## 特別会計及び企業会計の決算状況

会計名	歳入(収入)	前年度比	歳出(支出)	前年度比	差引額	
国民健康保険特別会計	37億7808万円	▲0.5%	37億3217万円	▲0.4%	4590万円	
後期高齢者医療保険特別会計	4億2786万円	3.0%	4億2263万円	2.0%	523万円	
介護保険特別会計	34億8901万円	3.1%	32億6301万円	▲1.0%	2億2599万円	
農業集落排水事業会計	収益的収支	3億4836万円	▲3.4%	3億3431万円	▲2.6%	1405万円
	資本的収支	5230万円	1.7%	1億951万円	0.02%	▲5720万円
公共下水道事業会計	収益的収支	6億7452万円	▲0.3%	6億4403万円	0.2%	3049万円
	資本的収支	2億3190万円	▲15.1%	3億8125万円	▲7.5%	▲1億4935万円
水道事業会計	収益的収支	7億8856万円	▲1.0%	6億9860万円	3.2%	8996万円
	資本的収支	2億2445万円	▲21.0%	4億6789万円	▲6.6%	▲2億4344万円
工業用水道事業会計	260万円	▲45.6%	239万円	▲47.8%	21万円	

収益的収支…1年間の営業活動で発生した料金収入などの収益と、収入を得るために必要になった費用。上下水道事業の場合、主に水道水の供給や汚水処理に係る収入と費用が計上されます。  
資本的収支…施設の建設や更新に係る財源の収入とその支出が計上されます。  
※ 農業集落排水事業会計・公共下水道事業会計・水道事業会計 資本的収支の不足額は損益勘定留保資金(現金の支出を必要としない費用の減価償却費など内部に留保している資金)等で補っています。

## 茨城町は早期健全化基準を下回っており、健全です!

項目	内容	R3年度	国が示した早期健全化基準
実質赤字比率	自治体の一般会計の赤字程度	—	13.68%
連結実質赤字比率	公営企業会計も含めた赤字程度	—	18.68%
実質公債費比率	標準財政規模(町が毎年安定して得ることのできる収入)に対する実質的な借入金の返済額の割合	6.6% 【前年度比0.6改善】	25.00%
将来負担比率	標準財政規模(町が毎年安定して得ることのできる収入)に対する将来支払うことになる負担の割合	23.5% 【前年度比28.4改善】	350.00%

実質赤字・連結実質赤字が算定されない場合は「-」を記載しています。

**問** 茨城工業団地連絡協議会は、工業団地の管理運営と会員相互の発展並びに地域社会の振興に寄与することを目的に設立し、主な活動の内容は、総会や企業間等における情報交換等が行われている。本町では当該協議会からの要望に対する調整を行っているほか、イベント情報の提供を行っている。茨城中央工業団地には、連絡協議会が設立されていないが、工業団地に立地する企業と連携を深めていくことは、町内の産業が

**答** 町には大きく2つの工業団地があり、茨城中央工業団地には11社の企業が立地し、連絡協議会が設置されている。現在、茨城工業団地には連絡協議会が設置されているが、どのような協議係性についても伺う。一方、茨城中央工業団地には協議会が設置されていないが、今後、連絡協議会の設立と、町としてのどのような関わりを持つていくのか、見解伺う。

### 一般質問



山西 正樹 議員

**問** 企業意向調査結果の有効活用を

**答** 調査結果を踏まえ、立地企業との連携強化を図っていく

**問** 公共施設の男性用トイレに設置するサニタリーボックス（汚物入れ）の設置状況と今後の展開について。

**答** 本町所有の各施設の男性用トイレへのサニタリーボックスの設置状況は、全52施設に対し、3施設は設置済み、約5・8%と少ない設置状況である。次に、サニタリーボックス設置について、今後の展開であるが、利用頻度の高い施設から、段階的に、でき

### 一般質問

**問** 調査結果を踏まえ、立地企業との連携強化を図りながら、移住・定住支援「及び」雇用機会の創出「並びに」工業団地における周辺環境の整備「等」について双方のメリットに繋がるような施策の検討を行っている。今後の意向調査の実施については、立地企業数の増加など、状況を判断しながら適宜検討していく。

**問** 工業団地立地企業における意向調査結果の活用について。

**答** 調査結果を踏まえ、立地企業との連携強化を図りながら、移住・定住支援「及び」雇用機会の創出「並びに」工業団地における周辺環境の整備「等」について双方のメリットに繋がるような施策の検討を行っている。今後の意向調査の実施については、立地企業数の増加など、状況を判断しながら適宜検討していく。

**問** インボイス制度においては、売り手である課税事業者が税額及び税率を記載した書類である「適格請求書」いわゆる「インボイス」の発行、保存が必要とされている。このインボイスに基づいて仕組んであり、複数税率のもの、適正な控除、課税の確保につながる

**答** 2023年10月1日よりインボイスが導入されている。茨城町の業者の中で、免税業者から課税業者の選択をしなければならぬ可能性のある中小業者は、おおよそ何件になるのか伺う。

### 一般質問



川澄 敬子 議員

**問** 中小業者などの負担が増えぬよう国へ要望を

**答** 国の動向を注視し、制度の周知徹底を図っていく

**問** インボイス制度導入における人等会としては、町商工会・法人会等により、インボイス制度事前準備・対策講座等の講習会や、パンフレットの送付等を行っている。引き続き、当制度の周知を図るため、関係機関等と連携して情報提供を行い、町内事業者の皆様にできるだけ急激な負担とならないよう支援に努めていく。

**問** 複雑なインボイス発行で事務負担が増え、帳簿方式からインボイス方式になることで、今まで以上の負担となること懸念される。中小業者や小規模農家、フリーランスの方などの負担が増えないよう、国等へ要望すべきと考えますが、見解を伺う。

**答** 国等への要望については、インボイス制度は国の進める新しい制度であり、制度導入にあたっては円滑な導入を図るよう、免税事業者からの仕入税額控除に係る経過措置等も設けられていることから本町として、今後とも、国の動向を注視し、制度の理解と周知徹底を図っていく。

**問** 制度について十分情報が行き届かないため、インボイス発行の仕方が分からないなど、困難な面について、どのような支援を考えているのか伺う。

**答** インボイス制度導入における人等会としては、町商工会・法人会等により、インボイス制度事前準備・対策講座等の講習会や、パンフレットの送付等を行っている。引き続き、当制度の周知を図るため、関係機関等と連携して情報提供を行い、町内事業者の皆様にできるだけ急激な負担とならないよう支援に努めていく。

## 令和3年度決算事業成果

町予算が適正かつ効果的に執行されたか、予算・決算常任委員会で慎重審議し、全ての会計決算を認定しました。

その中で、大きな成果を挙げた事業を紹介します。

決算額は、令和3年度のみ金額であり、全体事業費ではありません。複数年事業のものもあります。



## 新型コロナウイルス感染症対策

関連経費 12億5566万円

<b>新型コロナワクチン接種に係る経費</b> 2億5027万円 接種実績 1回目 25,746人 2回目 25,639人 3回目 15,069人	<b>住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費</b> 10万円を2744世帯に給付 2億7628万円	<b>子育て世帯臨時特別給付金給付事業費</b> 10万円を4090人に給付 4億1081万円
<b>プレミアム付商品券(第2弾)</b> 34,000冊完売 1億1420万円	<b>事業継続緊急給付金給付事業費(第2弾)</b> 10万円を288事業者に給付 2882万円	

国からの新型コロナ感染症対応地方創生臨時交付金も活用(上記は一部事業です)

## 道路新設改良事業費

1億8090万円

中石崎地内町道120号線バイパス化新設改良工事などを実施し、生活関連道路の整備促進に努めました。

## 給食共同調理場施設再整備事業費

9億5315万円

新調理場の本体建設工事や外構工事が7月に完了し、9月から供用開始しました。



議員 俊治

### 一般質問

#### 地域防災、住みよい町づくりのための排水整備を

地元要望などを踏まえつつ河川の健全な維持管理に努めていく

近年、局地的な豪雨により前田及び長岡、矢頭地区では排水先や側溝等の未整備箇所において、いつ車両が水没してもおかしくない状況になっている。また、小中学校の子どもたちにとっては、通学路を迂回せざるを得ない状況である。前田地区や長岡・矢頭地区団地の排水整備の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

前田及び長岡矢頭地区とも住宅建設が進んだ一方、側溝等も未整備のため大雨時には道路冠水などが生じていることから、排水整備に関する陳情等が提出されている。この冠水等の解消を図るため、前田地区においては、平成25年から約2800m区間の排水整備に着手し、現在約900m区間の整備が完了している。今年度は、約400mの整備を予定しており、引き続き残る約1500m

についても順次工事を進め、令和6年度の完成を目指していく。次に、長岡矢頭地区においては、昨年度、地区全体約27haを対象とした雨水排水の基本設計を実施したところである。今年度は地質調査及び詳細設計を行うこととしており、来年度より順次、排水整備工事を進めていく予定である。

矢川の整備の現在の進捗状況と今後の見通し、また、矢川の現状をどのように受け止め、どのように取り組もうとしているのか、所見を伺う。

上流域の長岡矢頭地区においては、町道107号線と交差する前後約385m区間の改修工事に着手し、昨年度までに約180mが完了している。本工事に係る年度は既に取得しており、令和5年度の整備完了を目指し引き続き工事を進めていく。また、下流域の東永寺地内においては、今年度も堆積土砂を撤去し、流下能力の向上を図っている。今後地元要望をふまえていく。河川改修にも、多大な費用はもとより、施工にも長い期間を要するが、近年頻発する豪雨や都市化による浸水被害への対応は、本町としても喫緊の課題と認識している。まずは現在計画している改修事業の早期完了を目指すとともに、地元要望などを踏まえつつ河川の健全な維持管理に努めていく。

※河川の川底の土砂を掘り



矢川下流域の越水状況

### 一般質問



議員 岩松 律子

#### 今後のフレイル予防の推進について

栄養指導や口腔ケアなど、様々な視点から対策を講じる

町民にとって、フレイルに対する認識が薄い現状において、本町の今後さらなる周知啓発の取組にかつ、どのように考えているのか伺う。

これまで、フレイル予防の情報も、町広報紙に掲載するとともに、健康増進課窓口やリーフレットを配置し、情報提供及び周知を行っていった。また、各地区の高齢者クラブや高齢者サロンなどの「通いの場」を活用し、フレイル予防についての講話や、セルフチェックを実施し、住民の皆様が意識変容や行動変容の重要性を啓発していただく機会を今後も、これまでと同様に、様々な機会を通じて周知啓発に努めていく。

早期にフレイルに気づき、予防につなげていくために、本町では早期発見、介入支援についてどのような取組が行われているのか伺う。

高齢者健康診査受診の際に「高齢者健康診査問票」によるチェックを行い、症状の前段階であるフレイルや、フレイル状態に陥っている可能性などを確認することによって早期発見を促し、必要に応じて関係機関との情報共有により介入支援を行っている。

「通いの場」等での活動の他、認知症予防も含んだ介護予防事業や、「シルバリーハビリ体操」といった運動教室など、フレイル対策としての効果も期待できる様々な取組を進めていく。また、生活習慣病の重症化予防や、健康寿命の延伸に欠かせない栄養指導を予防するための栄養指導、そして「老化の入り口」と言われるための口腔ケアなど、様々な視点からの対策を講じるなど、フレイル予防の推進に努めていく。

※フレイルとは、海外の老年医学の分野で使用されている英語のFrailtyが語源となっており、虚弱や老衰、脆弱を意味する。フレイルは、加齢とともに心身の活力である運動機能や認知機能が低下し、生活機能障害、要介護状態などの危険性が高くなった状態を言い、健康な状態と日常生活でサポートが必要な介護状態の、言わば中間的な段階であると言われている。適切な治療予防を行うことで要介護状態に進まずにすむ可能性はある。

### 一般質問



議員 美野田 龍敬

#### 犯罪被害者支援を明確化し、早期の条例制定を

犯罪被害者等の視点に立った支援の調査・研究を進めていく

犯罪被害者等基本法が2005年に施行され、犯罪被害者やその家族などの支援は国と地方自治体の責務とされている。犯罪被害者等支援に特化した条例の制定が必要だと考えるが、見解を伺う。

犯罪被害者等基本法が施行され、地方公共団体は、国との適切な役割分担を踏まえ、地域の状況に応じた犯罪被害者等支援の施策に取り組むこととされている。これを踏まえて、本町では、秘書広聴課内に犯罪被害者等への相談窓口を設置するとともに、「茨城町犯罪被害者等支援対応マニュアル」により、相談者に寄り添った対応をより、相談者としてまた、犯罪被害者等支援に関する研修会への参加や水戸地区被害者支援連絡協議会での情報交換、さらには、県警本部や公益社団法人いばらき被害者支援センターとの連携によるポスター掲示やリーフレット配布などの啓発活動に取り組んでい

### 一般質問



議員 高安 将能

#### ごみ出し困難者への対応について

ごみ出し支援体制及び連携しながら検討していく

「ごみ出し困難者への対応」については、現在、策定中である「茨城町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」のアンケート調査において、高齢者のごみ出し支援に対する意識調査も実施することとしており、その調査結果をふまえて、高齢者の増加に対応できるごみ出し支援体制及び支援策を関係各課と連携しながら検討していく。

犯罪被害者等支援と関係するところである。犯罪被害者等支援条例の制定については、今後、他市町村の動向なども参考にし、県が策定中の「犯罪被害者等支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画」の内容なども踏まえて、犯罪被害者等の視点に立った支援をどのように行うべきかなど調査・研究を進めていく。

#### ネーミングライツを導入し、施設維持管理費の軽減を

導入に向け検討していく

全国の地方自治体で広がりをみせるネーミングライツによる広告収入を本町でも導入するべきと考へるが、先進及び近隣市町村の動向について伺う。

県内では12市町が、ネーミングライツのパートナー契約を結んでおり、近隣の茨城県、水戸市において、4施設、大洗町におき、2施設、笠間市及び小美玉市では、それぞれ1施設となっている。主な契約施設は、各自自治体で所管しているスポーツ施設が大半を占めているが、中には、住民生活に身近な道路や歩道橋などの施設もあり、地域住民に密着した身近な施設にも広がりがつつある傾向となっている。

本町に見合ったネーミングライツの取組について伺う。

現在、本町においては、高収入で安定した収入が見込める大規

### 一般質問



議員 高安 将能

#### ごみ出し支援体制及び連携しながら検討していく

ごみ出し支援体制及び連携しながら検討していく

「ごみ出し困難者への対応」については、現在、策定中である「茨城町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」のアンケート調査において、高齢者のごみ出し支援に対する意識調査も実施することとしており、その調査結果をふまえて、高齢者の増加に対応できるごみ出し支援体制及び支援策を関係各課と連携しながら検討していく。

模範的な公共施設は保有しないが、先進事例にもある。地域住民に密着した身近な施設等を活用する内容であれば、低額でのパートナー契約が実現できると考えられる。企業においては、地域へのアピールによるイメージアップに繋がりが、本町においては、施設維持管理費の軽減となるなど、両者にとってメリットとなり得ることから、今後、企業と連携した形でネーミングライツの導入に向け検討していく。

※ネーミングライツとは、契約により施設及び品名等の一部の名称を企業名や商品名等に冠した愛称を付与させる代わりに命名権を取得した民間事業者等から対価を得て、施設の運営及び維持管理に役立てるもの。

### 一般質問



議員 高安 将能

#### ごみ出し支援体制及び連携しながら検討していく

ごみ出し支援体制及び連携しながら検討していく

現在、本町においては、高収入で安定した収入が見込める大規





## 総務・経済建設常任委員会視察報告

総務・経済建設常任委員会では、9月13日から9月15日まで、北海道の東部に位置する美幌町において、「美幌町役場新庁舎のZEB(ゼブ)化」について、視察研修を行いました。

美幌町役場新庁舎は、旧庁舎が抱えていた老朽化や耐震強度不足による危険性等の問題を解決するとともに、多様化する住民ニーズやエネルギーを抑えた環境配慮型のZEB(ゼブ)庁舎の実現を目的として2021年に整備されました。また、美幌町は気候の寒暖差が大きく、年間通じて降雨量・降雪量が少ないという特性をもっており、その特性を考慮した高い断熱性能の選定や、地中熱ヒートポンプ、高効率ヒートポンプ空調、LED照明やエコボイドを採用することで、50%以上の省エネルギーを実現していることをこの研修を通して知ることができました。

当町では、新たな文化的施設整備事業や令和2年7月に2050年までに町内の二酸化炭素(CO2)排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組むことを宣言しており、脱炭素社会の実現に向けても、再生可能エネルギーの活用や省エネルギーの設備導入についての調査研究を一層強化していかなければなりません。

今後は、エネルギー使用量・CO2排出量の削減を図るための、新エネルギー活用に向けた具体的な方策を提言してまいります。

最後に、当委員会において、今年4月に起きた北海道斜里町の知床観光船沈没事故の犠牲者を弔うため、斜里町役場に訪問し、未だに行方が分からない犠牲者が発見されることを願い献花させていただいたことをご報告させていただきます。

### 【ZEB(ゼブ)とは】

Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギービル)の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費するエネルギーをゼロにすることを目指した建物のこと。



美幌町新庁舎(ZEB庁舎)

インターネットで録画配信中！  
町議会では、インターネットによる録画配信を行っております。スマートフォンでも見ることができ、茨城町議会の様子をぜひご覧ください。



## 令和4年 第4回議会定例会のお知らせ

### 令和4年12月1日(木)開会を 予定しております。

◆会期日程・一般質問の内容等、詳細につきましては、町ホームページにて改めてご案内いたします。

◇茨城町公式ホームページ(議会のページ)

<https://www.town.ibaraki.lg.jp/gyousei/gikai/index.html>



### 議員出席状況

9月定例会(委員会を除く)

9月1日 全員出席

9日 全員出席

### 傍聴者数

9月定例会 20名

傍聴ありがとうございました。

### 広報委員会

委員長 関 俊治  
副委員長 岩 松 律子  
委員 高 安 将 能  
" " 根 崎 敏 夫  
" " 川 澄 敬 夫  
" " 入 野 富 男子

最後まで議会だよりをお読みいただきありがとうございます。  
読みやすく、わかりやすい議会だよりをめざしていきます。  
町民の皆様のご意見をお寄せください。

### 【ご連絡先】

茨城町議会事務局

電話 029-240-7193 (直通)

FAX 029-303-7713

メールアドレス

[i-gikai@town.ibaraki.lg.jp](mailto:i-gikai@town.ibaraki.lg.jp)